

テーマ：オーストラリアの外国人労働者から見る日本の外国人労働者の将来

所属ゼミ：バートル

発表者：佐藤雅哉

あらすじ

- ・日本の少子高齢化について
- ・日本の外国人労働者の現状
- ・現状から見る今後の対策
- ・オーストラリアの外国人労働者の特徴
- ・提案
- ・結論

研究背景と目的

日本では少子高齢化が急速に進み、人手不足問題が深刻化している。政府は外国人労働者の受け入れを積極的に受け入れているが、多くの課題を抱えている。そこで、本研究の目的は日本における外国人労働者の現用と古くから外国人労働者を受け入れてきた移民国家オーストラリアの経験を踏まえ日本の外国人労働者の受け入れ政策について提案することである。

・日本の少子高齢化について

日本の人口増加率は戦後 1950 年から急激に減少し、2015 年から 0%を下回るのと同様に日本の人口も減少へと傾いている。そして、年齢別では 65 歳以上の高齢者が徐々に増加している中、それ以外の年齢別人口は徐々に減少している

→少子高齢化の加速と労働世代の人口の減少

・日本の外国人労働者の現状

日本の外国人労働者は、2020 年 10 月末時点で過去最高である 1,724,328 人に上った。また、令和 4 年 10 月末時点は 1,822,725 人だった。また課題として、言語や文化の違い、労働条件、社会保障制度の理解の困難さ、人種差別や差別的待遇の可能性があげられる。これらの課題をより解決していくことでより多くの外国人労働者が見込まれる。

・現状から見る今後の対策

ハローワークの多言語相談体制の整備や高度外国人材・留学生等支援や特定技能外国人支援や定住外国人等支援や実際に人手不足な事業主とマッチングする支援がある。

・オーストラリアの外国人労働者の特徴

多様な国籍と文化: オーストラリアは多文化社会であり、外国人労働者もさまざまな国籍と文化を持っています。中国、インド、イギリス、フィリピン、ベトナムなど、さまざまな国からの人々がオーストラリアで働いている。そして、外国人労働者の多くは、高度な専門スキルや専門知識を持っています。情報技術、医療、建設、教育などの分野で

の需要が高く、それに応じて外国人労働者も増えています。また、オーストラリアの農業業界では、季節労働者として外国人労働者が重要な役割を果たしています。果樹園や畑での収穫作業や農場での仕事に従事する外国人労働者が多く存在し、農業の生産性を支えています。

・提案

・特に第一次産業やそのほかすべての産業において人手不足が現状である。また、その中で人手不足になっている事業主さんなどに対し、シーズン労働者を取り入れてもらう。そして実際に働きながら給料をもらい、日本の洗練された独自の技術を持ち帰ってもらう。さらに、まだ発展途上である国々で、日本で学んだ知識をその国の成長のために活かせるのではないか？

・結論

日本の外国人労働者はこれからもさらに増加していくと言える。

日本の少子高齢化により急速に人手不足が予想されている中で、外国人労働者というのはこれからの需要がさらに高まっていく。また、世界でもグローバル化が進んでいるので、そういった方々を受け入れることでよりグローバル市場などに繋がっていくと考える。また、外国人労働者の増加により、日本の経済に対してプラスの影響があると考えられる。外国人労働者の活躍により、産業の生産性が向上したり、新たなビジネスやサービスの提供が進んだりすることで、経済成長につながる可能性がある。